

LPガスCP情報(2015年8月積み)

1. 8月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 365^{ドル} (前月比 -30^{ドル})

ブタン 400^{ドル} (前月比 -25^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油市況、石油製品市況が急落するなか、LPガススポット市況も需給緩和を受けて軟化した。米国、アフリカのアーブ玉が大量にスエズ以東に流れ、中国の堅調な需要がみられたものの、フレートの高騰により市場は様子見が続きCP先物指標は軟化し、第4週末はプロパン365^{ドル}、ブタン400^{ドル}。ナフサは原油市況に連れ安、アジアの石化用ブタン需要も期待できずブタンも安い。また、極東CFRはフレートの高騰が続き堅調に推移していたが、第4週でフレート市況が軟化したことで極東CFR市況はプロパン450^{ドル}、ブタン490^{ドル}に下落、ネットバックではディスカウント市況が続いた。なお、高騰しているフレート市況は、インドの堅調需要も米~アジアのアーブ玉が価格差縮小で減少してきており、フレート市況も軟化傾向。バンカーオイルは原油市況に追随して軟化、27日には300^{ドル}を割り込み、7月月間平均も前月比約50^{ドル}の急落。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、全米プロパン在庫が増加し過去最高水準まで積み上がったものの輸出増により220^{ドル}前後で堅調に推移していたが、第4週は原油急落で軟化210^{ドル}どころに下げた。NWE(北西ヨーロッパCIF)市況は、第4週に需給緩和でプロパン330^{ドル}、ブタンは320^{ドル}に軟化した。

7月CPは前年同月比プロパン415^{ドル}、ブタン400^{ドル}のそれぞれ下落。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	136	134	135	120	131
CP先物指標：P	380	375	370	365	372
CP先物指標：B	410	405	400	400	403

② 原油市況等

原油市況をみると、WTIは7月56.96^{ドル}でスタートし、27日には47.39^{ドル}と急落し、弱気相場入りした(6月10日61.43^{ドル}から22%下げ)。ギリシャ債務問題で対ユーロドル高、欧州経済への不透明、イラン核協議の歴史的合意による制裁解除後の世界的供給超過懸念、中国株急落による需要減退懸念、米国超高水準原油在庫にリグ稼働数の増加など需給ファンダメンタルズは弱く、買い材料は見当たらない。一方、27日のNYMEXのWTI総取組高は166万枚で前月末比横ばいだが、売建玉が増加し大口投機玉の買越残高は21日に25.4万枚と前月比75千枚の大幅減少。

○7月積みアラビアンライト(7月1~28日)は56.5^{ドル}(前月比-4.69^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン463.24^{ドル/トン} ブタン456.89^{ドル/トン}

AL比 プロパン78.79% ブタン87.55%

***上記アラビアンライトはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。**

2. 2015年7~8月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	124.86	45,574	49,944	-3,400	-2,700
26~25日②	124.09	47,200	51,200	-2,700	-2,700
1~30日③	124.17	47,200	51,200	-2,700	-2,800

*TTS平均は①が7月16日~7月29日まで、②は6月26日~7月25日

③は7月1~29日、①は9月仕切への影響、②~③は8月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。